

2021年4月1日

保護者の皆様

児童発達支援センター
うめだ・あけぼの学園

うめだ・あけぼの学園における新型コロナウイルス感染症への対応について

うめだ・あけぼの学園では新年度を迎えました。2021年度も職員一同全員で力を合わせてお子さんとご家族の支援にあたっていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

2021年度も、新型コロナウイルス感染症（Covid19）への対応をしながらの支援提供となります。私たちがCovid19に出会って1年が経ちました。多くの経験を積み重ねてきて、withコロナでもできることがたくさんあることもわかってきました。一人一人のお子さんたちのかけがえのない“今”を少しでも有意義なものとするため、取り組んでいきます。そのためにも、Covid19対応を確認しておきたいと思います。

1. 学園におけるコロナ対応のコンセプト

- ① 自分がうつらない・かからない
- ② もし感染したとしても、なるべく他者にうつさない
- ③ もしうつってしまったら、最小限にとどめる

職員一人一人の取り組み

- ・ 全職員の健康チェックの実施、出勤時の検温、常時マスクの着用
- ・ 体調がすぐれない場合の出勤自粛
- ・ 活動終了後の教材・教具の消毒
- ・ テレワークの導入

2. 発達支援活動の提供体制について

うめだ・あけぼの学園では地域の感染状況や行政の対応等を踏まえて、提供体制の検討を行っております。子どもたちの育ちにとって、この乳幼児期は極めて貴重な時期であることを踏まえ、行事も含めて、できる限り日常の活動を保障していくことを目指しています。

状況によって、登園に際して同行できる保護者の人数や、集団活動場面における給食のお当番活動、調理活動、毎日通園室の場合はバスの利用定員などに変更を行なっています。

新型コロナウイルス感染症対策としての環境設定

換 気 ※注下記

- ・ 常時換気
- ・ 居室のドアの可能な限りの開放
- ・ 可能な範囲での二方向窓開け

空気清浄機の導入

- ・ 集団療育の部屋：高機能空気清浄機設置
- ・ 行事開催時：会場に空気清浄機を設置

注1 本館はロスナイシステムによる常時換気。換気扇であるロスナイシステムを職員が滞在している間は常時稼働することによって、常時換気を実施。廊下以外の居室に整備されている。記念館においても換気扇を常時使用。
注2 ドアや窓開けについては、子どもの安全が確保できる場所、タイミングを確認しながら実施。

【オンラインでの発達支援活動の提供】

- ・ Covid19 への感染が懸念されるなど、登園することを控えたい場合には、代替手段としてオンラインでの支援提供が認められています。担当スタッフにご相談ください。
- ・ 学園利用と同様に、1回分の利用料が発生します。

3. ご協力をお願い

Covid19 対策については、保護者の皆さんにもご理解、ご協力をお願いしております。実施可能なものについては、お子さんも一緒に取り組んでいただければと思います。

【体調把握について】

登園前の検温	健康チェック表の提出	同居家族の健康チェック
登園時には 自宅を出る前に検温を！	登園前日の状態も お聞きします	同居するご家族の健康状態も お知らせください

※基礎疾患がある場合には、主治医の先生と相談と確認をしてください。

※お子さんや同居するご家族の体調がすぐれないときには、学園スタッフにご相談ください。

※Covid19 は発症する 48 時間前から感染力があるとされていますので、お子さんや同居するご家族が感染した可能性がある（感染者と接触した、疑わしい症状がある、PCR 検査を受けるなど）場合は、念のためなるべく早い段階で学園スタッフまでご連絡下さるようお願いいたします。足立区へも報告することが求められているものがあります。

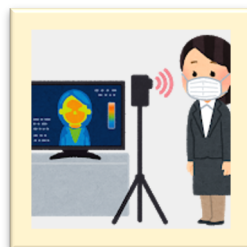
【学園に着いてからのお願い】



大人はマスク着用



アルコール消毒



入館時の検温



登園降園時の手洗い

マスクについては、特に 2 歳未満のお子さんについては呼吸器がまだ十分に育っていないことから、不要と言われています。むしろ危険であると警告をされています。また 2 歳以上であっても、感覚過敏であったり、種々の理由により、発達に支援を必要とするお子さんたちの場合はつけることが難しい場合が多くあります。つけることが可能なおひこさんは使用していますが、無理をさせずに過ごしているところだす。ぜひ、ご理解いただきたいと思ひます。

対応を検討する上で考慮したこと

- ・ 乳幼児における感染リスク・重症化リスクは低い
(日本小児科学会 予防接種・感染症対策委員会：小児の新型コロナウイルス感染症に関する医学的知見の現状 2020/5/20)
(足立区では、2020 年 10～12 月の感染者のうち 10 歳未満のおひこさんの割合は 2.25%；足立区の発表を基に学園集計)
- ・ 大人から大人への感染リスク、大人から子どもへの感染リスクを軽減する必要がある
- ・ 学校、保育園等においては、感染予防に努めつつ、通常の教育活動となる
- ・ 換気的重要性が指摘されている：学園内では換気の徹底に努めている

※最大限の衛生管理をしていても限界があることをご理解ください

この新型コロナウイルス感染症に対しては、どんなに防御をしても、完全に防ぎ切ることが難しいことが分かってきました。現時点では“極力自分が感染しないように”しかし“もし、感染してしまったら、それを周囲に広げないように”という次の対応にシフトすることが必要だす。

職員・保護者の誰もが等しく感染のリスクがあります。もし感染がわかったら、その経過のいかんに関わらず、治療にあたる大変さ、心細さに思いを馳せて、回復を願いたいと思ひます。

保護者の感染が分かり、おひこ様や介護するご家族の預け先に困った時には、区の支援策がある可能性があります。保健所などへの相談にあたり、学園・子ども相談支援センターでもできる限りお手伝いしますので、ご相談ください。

この件に関してのお問い合わせ
副園長 酒井 康年